

# やけどについて

## 1度のやけど

赤くなっただけのやけどは1度です。処置は不要ですが、ヒリヒリする場合はステロイド軟膏(リンデロンV軟膏)をぬってください。

## 浅い2度のやけど

水ぶくれが出来たやけどです。皮膚の最も表層だけが熱でやられた状態で、水ぶくれの下の組織は生きています。適切な処置で1週間ほどで治ります。

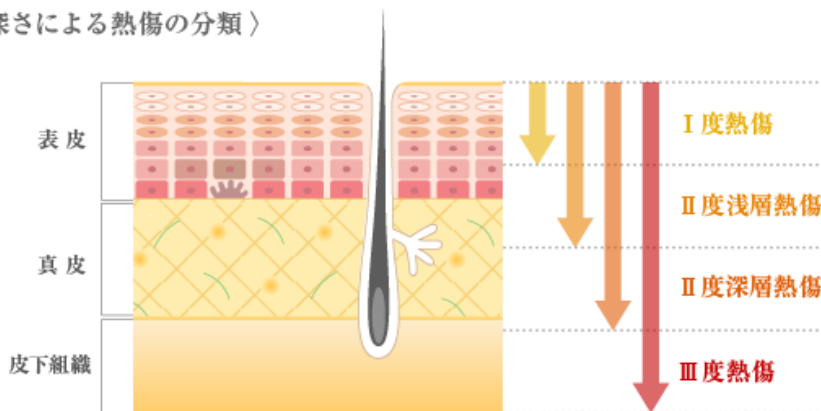
## 深い2度のやけど

皮膚のやや深いところまで熱でやられた状態です。水ぶくれの下も薄く層状に壊死していますが、毛穴の奥の方まではやられていませんので治り始めると早いです。まず壊死した層が白っぽくなりとけて消えて、10日~2週間で治ります。

## 3度のやけど

皮膚の下の皮下組織まで達したやけどです。低温やけどもこれです。壊死した組織の深さによりますが、壊死した組織に対して切開などの処置をする必要があります。血が出るような処置は不要で、壊死組織がとけて取れるのに2週~1ヶ月、肉が上がってくるのに2週~1ヶ月、皮膚が覆うのに2週~1ヶ月かかります。

〈深さによる熱傷の分類〉



## やけどの治し方(傷の治し方も基本は同じです)

### ①壊死した組織を除去する

水ぶくれの皮は死んでしまっています。そのままだとばい菌の巣にしかありません。早く取ったほうが治りが早いです。

水ぶくれの下にも壊死した組織がある深い2度以上のやけどは壊死組織が消えないと治りません。無理に取る必要はなく、やけどから出る浸出液で融けていきます。乾燥させるといつまでもくっついたまま治りません。

### ②やけどを乾燥させないようにする

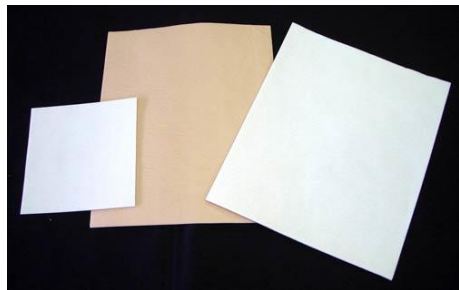
やけどから出る液には壊死組織を溶かし傷の治りを促進する物質が含まれています。やけどの面は常に浸出液で湿った状態にすることが重要です。

一方、やけどの周りの正常な皮膚は浸出液でかぶれやすくなりますので、やけどはシットリ、周りはサラッと乾燥が理想です。

# やけどの処置に使うもの

ワセリン以外の塗り薬やガーゼは使ってはいけません

## プラスモイスト



包装 白い方をやけどにあてます  
傷にくっつかず、余分な浸出液を吸い取って、「傷は湿って周りサラッと」を実現してくれます。

## 白色ワセリン



やけどが乾燥気味のときにプラスモイストに塗って使います。  
治った後もしばらく使います。

## ハイドロコロイド



ハイドロコロイド包帯      デュオアクティブET  
ベージュ色のゴム状の薄いシートで、シール状の粘着面をやけどにあてます。  
顔のやけどや乾燥傾向のやけどに使うことがあります。

## ステロイド軟膏



1度のやけどや経過中に肉が盛り上がりすぎたときに使います

# やけどの処置のやり方

## 家庭での処置

毎日ぬるま湯でやけどをそっと流してください。やけどの周りの皮膚を拭いてプラスモイストを当てれば終了です。簡単です！

しみなければ入浴して構いません。石鹼はやけどには使ってはいけません。

浸出液が多い場合は日に2～3回処置してください。

やけどからの浸出液が少なくてプラスモイストが貼りつきがちなときは、プラスモイストにワセリンを塗ってからあててください。

プラスモイストにまったく浸出液がつかなくなったら治った証拠です。

顔のやけどなどでハイドロコロイドを貼っているときは白くふやけたら剥がしてやけどを流してまた新しいハイドロコロイドをはってください。

あまりふやけてなくても1日おきくらいには貼り替えたほうがいいです。まったくふやけなくなったら治っています。

ハイドロコロイドの粘着力が強すぎる時は、粘着面を少しだけ湿らせてから貼ると剥がす時に痛くありません。

簡単な処置ですが、これだけで治っていきます。

治った後も1～2週は汗をかきづらく乾燥しやすいのでワセリンを塗って保護したほうが良いです。カサカサになります。

## よくある質問

Q: やけどに黄色いのがついている。化膿しているのでは？

A: 深い2度以上のやけどは黄色い壊死組織やタンパク質の膜が表面についていますが、気にせず毎日洗っていると自然に溶けて流れていきます。

やけどの面が赤いのは血流がいい証拠で治りやすいです。

やけどの周りの皮膚が赤くなり痛みや熱を持っていたら化膿です。抗生剤を処方しますのですぐに受診してください。

Q: やけどが痛む

A: やけどが空気に触れていると痛みやすいです。プラスモイストにワセリンを塗って密着するように貼ってください。

やけどの周囲の皮膚が赤くなっている場合は感染していますので抗生剤の内服が必要です。

足のやけどは感染してなくても痛みがでやすいです。できるだけ足を上げて安静にしてください。